

平成 29 年度 第二回東部ブロック研修会報告

報告：東部ブロックリーダー 横尾 友梨子、渡辺 尚美

平成 29 年 11 月 12 日（日）に、三島市民文化会館にて今年度二回目のブロック研修会を開催いたしました。参加者は 28 名で、9 施設からの参加がありました。今回は、2 症例の発表を中心に行いました。それぞれ、ST 経験年数が 1～2 年目の方々でしたが、とても細かく評価・分析がなされていて、臨床への熱い思いが感じられました。フロアからも多数の質問や意見があがり、充実した質疑応答の時間となりました。



■症例発表

『聴覚的理解の改善が難渋した感覚性失語の 1 例』

湖山リハビリテーション病院 泉田陸先生、

『重度認知症嚥下障害の評価とアプローチ』

袋井みつかわ病院 佐藤由紀先生

■グループごとの話し合い

小グループに分かれての話し合いでは、成人グループは、『各施設で使用している物品の紹介』等を行いました。嚥下訓練で使用するアイスマッサージ棒を、スポンジブラシやスポイトにひと工夫して用いるなどの施設がありました。皆、興味を持って聞いていました。

小児グループは、初めて参加した施設があったため、自己紹介ののちに通級指導教室との連携について意見・情報交換を行いました。私立の施設は、とりわけ教育機関とのつながりをもつことの難しさがあること、学校単位でも連携の流れが異なることがわかりました。連携相手の文化を尊重したうえで協力体制を築いていく大切さを確認しました。



今回は若手の参加が多く、今後の東部ブロック研修会の内容、進め方等の検討が必要であると思われました。「また参加したい」と思っただけのような、魅力ある研修会を目指していきたいと思えます。